



神奈川県
社会福祉法人
経営青年会通信

untitled

2025年3月31日
NO.61



<http://www.kana-pie.com>

[untitled]肩書や、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して・・・



CONTENTS

- 1. 箱根宿泊研修報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1
- 2. 全国経営青年会兵庫大会報告・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
- 3. 神奈川県経営青年会総会・研修会報告・・・・・・・・ P.3
- 4. 会員交流名刺交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4
- 5. 関東甲信越静岡ブロック経営青年会総会・研修会報告 P.4
- 6. 国会訪問記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.5
- 7. 会員法人紹介・永寿会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.6
- 8. 会員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.7
- 9. 卒会に寄せて／会員数／今後の予定・・・・・・・・・・・・ P.8

箱根宿泊研修

in 水明荘 令和6年10月28日-29日

令和6年10月28日(月)・29日(火)に今年度、青年会を卒会される、社会福祉法人地域福祉協会の押川理事長・社会福祉法人三神会の井田施設長・社会福祉法人真幸会の真壁事務長の3名をお招きし『私たちの青年会～未来へつなぐ～』をテーマとした、宿泊研修を開催しました。

青年会に入会してから、他法人の方々と情報交換する機会が増え、これまで抱えていた悩みや職場での困難な事例を相談することができ、自身で解決出来なかった事が横との繋がりが広がったことにより解消されていったそうです。その結果、自分の知識が増え、組織運営の在り方について新たな視点を獲得ことができ、自法人への還元につながり、より良い経営を目指すための貴重な資源となり財産として残せるようになったと仰っていました。

また、青年会活動を通じて、他法人の施設を見学したり、様々な団体との関わりを持つことが出来たりした結果、横の繋がりも増え、信頼関係が築かれ、仲間が増えていったことは大変貴重な経験になったそうです。

特にわたしが共感したことは、活動していく中で様々な体験をしてきたからこそ「良いものは次

箱根水明荘で開催された宿泊研修には、日帰り参加者も含め合計28名が参加。今年度で卒会を迎える先輩会員に、青年会のこれまでとこれからを講演していただきました。

世代に繋げる」という考え方を大切に、ポジティブな経験から学び、他のメンバーや次世代にその知識や経験を共有していきたいと考えようになったという想いでした。昔は活動人数が少なく感じられましたが、今では若い世代が多く経営青年会に加入しており、今後に対する大きな期待・発展をさらに進めるためには、メンバー間のコミュニケーションを深め、個々の意見を取り入れたチームビルディングが重要であると助言をいただきました。

これまで青年会の活動で大切にしてきたことは、歩み寄りの気持ちや結束力の強さを意識すること。それを外部に発信することで、自然に評価が上がり、活動の質が高まっていくと仰っていました。

その結果、今期の夏に開催された全国社会福祉法人経営者大会では、経営青年会の活動が全国の経営者部会の方々から高く評価され、経営青年会の活動が着実に認められていたことが結果で出ていたとお褒めの言葉をいただきました。

今年度で卒会される先輩方には深く感謝の気持ちを伝えたいです。また、今回講師を引き受けてくださった押川理事長、井田施設長、真壁事務長、今まで本当にお疲れ様でした。先輩方が築いてくださった経営青年会を受け継ぎ、私たちの時代でも恥じぬように活動を続け、次の世代にバトンを渡せるようみんなで力を合わせて活動していきます。

卒会される先輩方から「卒会しても困った時は遠慮なく相談してほしい」とお言葉をいただき、その言葉に非常に安堵しました。先輩方が見守ってくださる中で、次の一步を踏み出せることに安心感を覚え、感謝の気持ちでいっぱいです。改めて、これまでのご指導とご支援に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

研修委員 小片翔三



全国経営青年会 兵庫大会報告

令和6年11月28日-29日
神戸メリケンパーク
オリエンタルホテル

令和6年11月28日-29日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて第27回社会福祉法人経営青年会全国大会が開催された。「つながる～だれもが大切な人と、明るい未来を創造できる社会へ～」をテーマに参加者400名を超え神奈川県から12名の参加となった。開会の挨拶において村木会長は被災しても繋がれる・繋がっている場の存在が大切と述べられた。また多忙なおり斎藤元彦兵庫県知事からも挨拶があり、災害時の避難所で多様な方を受け入れるためにも社会福祉法人の意見を踏まえ防災対策にしたい。その支える人材が不足しており対策を講じると述べられた。

村木会長の基調講演では福祉ソーシャルワークに生成AIが活用され供給制約時代がくるとし、法人経営・事業展開検討委員会の事業所を視察し考察。組織人材マネジメント委員会の心理的安全性にフォーカスしたマネジメント方法。福祉施策研究・提言委員会のこれからの社会福祉法人の在り方の紹介があり、制度が事業拡大継続に対応するも縮小統合再編に対応していないとし変わらない努力・変わる努力・そして福祉サービスを続けるために地域を守るために周りを変える努力が必要と述べられた。

厚労省田中氏行政報告ではこれまでの改革と合わせて経済財政運営と改革の基本方針2024(令和6年6月21日閣議決定)について説明があった。

講演Ⅰ「食を通じた持続可能な社会づくりと経営」は神戸北野ホテル 総支配人・総料理長の山口浩氏が講演され、料理人でありながらホテル経



大会1日目の
交流会で
高島芦屋市長と



営や地元漁師と魚を守る共同を意識するなど幅広い取り組みを述べられた。SDGSは国連が全会一致で採決し必ずやらなければならないものであり、それをボランティアでやるのではなく事業に変える取り組みが重要とされた。

講演Ⅱ「多様な人が多様に活躍するつながり豊かなまちづくり」は高島芦屋市長が講演され、市長の使命は市民の可能性を拓くことにあり教育が最も重要と考えている。意思決定には必ず前後に対話を挟み一方通行を双方向に変え役所任せでなく何が協力できるかに変わる取り組みを行った。2日目は第1分科会「どうやって生き残る？今後の社会福祉法人の経営戦略を考える」は担当委員による視察報告があった。まとめると社会福祉法人は地域ニーズに沿った事業を展開し法人のブランディング確立し行政の信頼を得て様々な事業を任せられた結果、事業基盤安定を図るというものであった。

講演Ⅲ「一人ひとりの力が発揮されるチーム形成のコツ」は「元なでしこジャパン」女子W杯優勝メンバーGK海堀あゆみ氏・MF阪口夢穂氏・FW大野 忍氏の対談形式で行われた。異なるクラブから集められたバラバラの代表チームは小さなコミュニケーションを繰り返し大きなコミュニケーションまで発展し全体の統一目標となったことを述べられ、質問に対しては秘話が飛び出すなど盛り上がる内容であった。

最後は高桑勝副会長の挨拶により閉会した。

大会を通してプログラムは盛りだくさんな中身の濃い大変有意義な大会となりました。

総務広報委員 広嶋稔之



神奈川経営青年会 総会・研修会

令和7年2月12日
神奈川県社会福祉センター

令和7年2月12日、神奈川県社会福祉センターにおいて令和6年度第2回神奈川県社会福祉法人経営青年会総会が開催されました。井田会長より開会の挨拶あり、出席者30名、委任状提出20名と過半数以上の50名をもって総会成立が確認されました。

- 敬寿会石堂議長の進行により、
- ・令和6年度収支補正予算（案）
 - ・役員改選
 - ・令和7年度事業計画（案）
 - ・令和7年度収支予算（案）

が審議され、全ての議案が承認されました。

また、新年度役員8名よりそれぞれ挨拶がありました。平本新会長からは「つなぐ」をテーマに会を運営していくという力強いメッセージが寄せられ、私も会の活動を盛り上げられるよう頑張りたいと、決意を新たにしました。

最後に、押川副会長より閉会の挨拶があり、令和6年度第2回総会は滞りなく終了しました。

総務広報委員 五十嵐大輔



研修会では、バリュエンスジャパン株式会社社長室 シニアスペシャリスト、神戸国際大学客員教授 二宮 博様をお招きして、『最高の人材育成とチームマネジメント～一人一人が主役になる～』をテーマに、ご講演を頂きました。

二宮様は中京大学体育学部体育学科卒業後、故郷で公立中学校の保健体育教諭として10年間勤務。1994年から、Jリーグガンバ大阪のスカウトとして世界で活躍し、本田圭佑や愛媛県出身の鎌田大地、堂安律など多くの選手の発掘、獲得、育成に携わる。スカウト編成部長やアカデミー本部長などを歴任し、組織の充実などに努め『育成のガンバ』の礎を築きました。

2021年、定年を前にガンバ大阪を退社し、自らがスカウトした元Jリーガー、寄本（さきもと）晋輔氏が代表を務め、主にブランド品の買取や販売事業を手掛ける、バリュエンスホールディングスに入社。社長室シニアスペシャリストとしてスポーツ関連事業に携わるほか、関西の大学や高校や企業、様々な団体に講演活動などを行いました。

2023年に『一流の一流の共通点 スカウトマンの私が見てきた成功を呼ぶ人の10の人間力』出版。

「数多く才能ある人材スカウトをしてきたが、成功するかは本人の行動が重要。才能が発揮でき、成功するためには、本人の根っこの部分（性格やモチベーション力）や監督、チームとの関わり方が重要。また自分自身でミッション・ビジョン・バリューを意識して行う人は人間的成長に繋がり成功する人材。逆に『でも、だって』の言葉を使う人、指導されるとふて腐れてしまう人、今の状況で満足している人は成長しない」と仰っておりました。

「正しい前向きな考え方をすれば仕事も家庭も人生も変わる。しかし、心のマネージメントが大切。」「サッカーも人生もミスが多い。1日10回ありがとうということで周りの雰囲気良くなる。感謝の気持ちが重要。職場で笑顔が多ければミスが減り良い仕事に繋がる。社員で前向きに考え方、自分の結果だけでなく周りを気にして時には冗談を言う方が何人かいると組織は強くなる」と仰っており、改めて人との接し方、考え方、人材育成の大切さを改めて認識させて頂きました。

上記以外にも社会福祉法人を管理する上での気付きやヒントを得ることができ、とても素晴らしい研修会でした。

最後に講師を引き受けてくださった、二宮 博様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

研修委員 長田栄作



会員交流名刺交換会

令和7年1月16日 横浜ホテルプラム

令和7年1月16日、ホテルプラムにて新年会を兼ねた会員交流会を開催致しました。本会は、普段なかなか活動に参加できない方や、知り合いが少ない方でも気軽にご参加いただけるよう企画され、22法人から34名のご参加がありました。立食形式で和やかな雰囲気の中、会員同士のご歓談を通して、情報交換や仲間の輪を広げる絶好の機会となりました。来年も大勢の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

総務広報委員 庄田菜美



関東甲信越静ブロック総会・研修会報告

令和7年2月20日-21日 古名屋ホテル2階「バンヤンツリー」(山梨県)

令和6年度の関東甲信越静ブロック経営青年会総会・研修会は、2日間に亘り山梨県甲府市で開催されました。

1日目：研修会・情報交換会

「志に生きた甲州人たち」講師：江宮隆之氏（作家）

“山梨県は周囲をぐるりと高い山に取り囲まれています。戦国・江戸の昔から多くの甲州人たちが、この高い山を越えて「向こう」まで行きたいと願いました”(演者レジュメより抜粋) —講演のキーワードは「甲州財閥」。山梨の富豪、実業者を集合体として指す言葉であり、多くの甲州人が冒頭のとおり「山の向こう」の横浜・東京に東京に向かい、残した偉業に敬意を込めています。氏は、叙事的な語り口で石橋湛山（大蔵大臣を経て第5代内閣総理大臣）、内藤多中（東京タワー、2代目通天閣等設計者）、古谷徳兵衛（松屋百貨店）等のエピソードに焦点を当てその業績を紹介。参加者は甲州人の物語に引き込まれていました。

「白ワイン『甲州』と風土を生かしたワイン造り」

講師：三澤彩奈氏（中央葡萄酒株式会社取締役）

「勝沼御三家」とも称される名門ワイナリー、中央葡萄酒（グレイスワイン）。グレイスワインの輸出先は、2019年現在で20カ国超え、世界で最も飲まれている日本のワインメーカーです。氏は、家族経営という福祉業界でも多い形態での事業継承者であり、醸造責任者として甲州ぶどう100年の伝統を引き継ぎました。伝統に改良を加え、ワインを進化させた結果2014年にDecanter World Wine Awardsで日本ワイン初の金賞とアジア地域の最高賞であるリージョナルトロフィーを受賞。2015年の同コンクールでも最高賞となり、日本でも話題となりました。以降も新たな挑戦を繰り返し、世界が求めるワインの製造を続けています。初代の「葡萄酒」から始まったワイン製造を、時代の変化に合わせて進化させ成功した氏の講演内容は、'先代から事業を引き継ぐ我々青年会の姿にも重なりました。また、同日の情報交換会では同社のフラッグシップワイン「グレイス甲州」の他2種のワインが提供され、参加者の舌を楽しませていました。



2日目：研修会・総会

「山梨から世界へ、世界から山梨へ～山梨県を環境県へ、観光県へ、福祉の県へ～」

講師：石坂正人氏（ジットグループ株式会社代表取締役）

「すべての事業を点から線へ、線から面へ」—JTグループは、環境、観光、福祉の3つを軸に、ニーズと共に事業を展開し、山梨から全国へ、日本から世界へと躍進した企業です。初代表取締役の氏が、一から事業を立ち上げ、発展させました。リサイクルカートリッジ、医療ヘルスケア商品の製造販売、冠婚葬祭事業、障害サービス事業、農業など、その事業は多岐に亘ります。その経緯を氏は「時代のニーズを見極め、必要に応じて必要な分をプロダクトした」結果だと語っていました。'環境問題'のニーズに合わせインクカートリッジの再利用を、地元の障害者の働き先がないとのニーズから再利用カートリッジ製造に障害者の雇用を、と、まさにニーズの点を線でつなぐことで事業を発展させ、社会問題に積極的に取り組んでいます。ニーズに合わせたサービスの提供は福祉業界も同様ですが、発展を見据え、社会福祉法人が生き残るためにも、氏のような経営視座を持ち続けることが重要であると再認識しました。

総会では、昨年度のブロック大会の会計報告がされ、内容が承認されました。その後、各都県より活動報告が行われ、2日間の総会研修会は終了しました。

総務広報委員 大滝愛子

国会訪問記

青年会の会員から衆議院議員が誕生



第二議員会館内執務室の大塚代議士。国会議事堂内も説明付きで案内して頂きました。



特養施設長から国政へ挑戦

昨年10月27日に行われた第50回衆議院選挙。神奈川20区の立候補者に、経営青年会の会員がいました。社会福祉法人蓬萊会常務理事、また同法人特養施設長として従事し、青年会に於いても当時数少なかった女性会員として活躍。混乱の選挙戦を勝ち抜き、見事当選した立憲民主党大塚さゆり代議士。令和7年1月20日、大塚代議士の衆議院第二議員会館事務室を訪問し、国政への挑戦、今回の選挙戦や今後の議員活動について話を伺いました。

国政に、現場の声を直接届けたい

仕事と子育ての両立を実践してきた現役子育て世代の母親として、特別養護老人ホームの施設長として様々な福祉の課題と向き合ってきた経験をもとにリアルな声を政治に届けたいと思い、国政へ挑戦しました。

立候補から衆議院選挙までの16ヶ月

令和5年6月に公認を受けた日より、選挙区内の駅立ちを行いました。最初はボランティアの数も少なく、チラシも受け取ってもらえないこともありましたが、私の思いに共感してくれる方、「頑張ってるね」と、応援してくれる方が徐々に増えていき、衆議院選挙前では、かなりの手ごたえを感じていました。地道に活動をした結果、当選することができ、公約の実現に一歩近づけました。

国会議員は、国民の代表

国家資格習得後、現場経験5年以上という資格要件の介護支援専門員を持つ国会議員は、現在私を含めて2名。一年生議員はやる人がたくさんありますが、国会議員は国民の代表です。子育て・介護のリアルな声を国会に届け、政策に繋げていきます。福祉の現場の問題解決のために、青年会の皆様は私を使ってください。ぜひ第二議員会館にもお越しください。



左から平本副会長、井田会長、大塚代議士、石川副会長、広嶋幹事(総務広報委員長)。



国や県の様々な委員会に名を連ねている会員も多く、今後の福祉関係の動向についてもしっかりと情報共有を続けて、現場の声を国政に届けていきたいと思っています。

大塚さゆり代議士には、お忙しいところ、お時間を作っていただきありがとうございました。1月のスケジュールを拝見し、休むことなく毎日地域の方のために精力的に活動している大塚代議士の今後の活躍を祈念しております。

副会長／総務広報委員 石川友紀

社会福祉法人永寿会



藤沢市内の他、東京都でも事業所を展開

交通利便地で自然あふれる環境の中、「あたたか・安心・いきいき」をモットーに地域の高齢者福祉を目指す介護老人福祉施設と「老保交流」を重要な保育方針として掲げる保育施設を運営しています。

神奈川県藤沢市や東京都町田市エリアを中心に、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム：デイサービス、ショートステイ、居宅介護支援の事業所を併設）、グループホーム、地域包括支援センター、認可保育園、企業主導型保育園の運営。学童クラブ、子ども食堂等の地域貢献事業の実施をしています。



法人理念

- ・施設を利用する高齢者の尊厳と自立を常に最優先し、豊かな充実した人生の創造に寄与するため、施設・従事者が一体になって、支援と協力する体制づくりに努める。
- ・日本の四季の変化や暮らし、地域の生活習慣や利用者のライフスタイル、人生経験と生活感覚を織り込んだ施設生活を創出し演出することに努める。
- ・地域の色々な年代の人々や家族・親族との結びつきを深め、交流を広げ、様々な連携と協力により共同の輪の中で生きている喜びを実感できるような運営に努める。
- ・施設が保有・創出する様々な資源や環境を、地域に還元・共有することにより、地域に大きな根を張る福祉の拠点としての役割を担うように努める。



働きやすい環境を整備した法人の特色



①サポート体制の充実

未経験の方でも自信を持って仕事ができるよう入社後のフォローはもちろん、定期的な面談をして不安や悩みをなくしていきます。

法人入職時研修や、外部研修・資格取得支援のバックアップも豊富です。さらにキャリアステップアップ制度を取り入れステージごとに様々な研修も行っており、皆さんの目標につながるよう支援します。

②女性が働きやすい職場

子育てをしながら働く女性が多く在籍。育児休暇の取得中や復帰後、活躍している職員もいます。企業内保育園も完備しており、女性が安心して働くことが出来る環境づくりに努めています。お子様の急な体調不良にも職員の理解があるので、安心してお休みを取ることが出来ます。

③長く働ける環境

永寿会には皆さんが活躍できるフィールドがたくさんあります。経験を積んで介護士から主任、管理者へスキルアップしている職員や、特養からデイへ異動して自分の強みを発揮している職員など、転職せずに法人内で長く働ける環境があります。

社会福祉法人永寿会
SNS



新入会者を中心に、神奈川経営青年会の会員をご紹介します。

会員紹介



庄田 菜美 NAMI SHODA

社会福祉法人竹生会 理事長
趣味：旅行、読書（推理小説など）、愛犬トイプードルとの散歩

竹生会は、昭和61年に設立され、「竹のように逞しく成長する」という願いを込めて名付けられました。藤沢市と横浜市を拠点に、基本理念である「愛の心」を大切に、明るい高齢社会の実現を目指して、職員一同取り組んでいます。

祖父が70年前に開業した横浜市磯子区の医院で内科診療に携わっています。祖父の診察を受けたことのある患者さんが懐かしんでくださることもあり、長年の地域の皆様による支えをありがたいことと思っています。趣味は旅行と読書です。最近ではしまなみ海道をサイクリングした際の、瀬戸内の雄大な景色が印象に残っています。

理事長に就任した一昨年は不安もありましたが、青年会で志を共にする方々に出会い、大変心強く感じています。祖父が愛した論語の一節「徳は孤ならず、必ず隣有り」を心に刻んで、職を全うして参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願いいたします。



江頭 幸 SACHI EGASHIRA

社会福祉法人三つ葉会 副理事長
趣味：ドライブ、旅行、散歩

約20年前に家族が福祉の世界にいたことがきっかけで介護の世界に入りました。本部管理の仕事を経て、8年前からは株式会社の介護事業所や障がい者グループホーム事業の経営に携わり、約2年半前から社会福祉法人に在籍しております。

趣味はドライブ、旅行、散歩です。運転が好きで、箱根を越えて御殿場や山中湖の方へよく出かけています。旅行では、自然や温泉、美味しい食べ物を楽しみながら、静かな場所でゆっくり過ごすのが好きで、最近では小豆島がお気に入りです。散歩は、夜9時以降に1時間～1時間半くらい歩くのが好きです。どの趣味も、気ままにふらっとというのが私のいつものスタイルです。



吉村 基樹 MOTOKI YOSHIMURA

社会福祉法人下府中保育園
アミッチ保育園 園長
趣味：筋トレ・スポーツ観戦

資格

保育士・社会福祉主事・ホームヘルパー2級・児童指導員・児童福祉司任用資格・知的障害者福祉司任用資格・身体障害福祉司任用資格

趣味は筋力トレーニングとスポーツ観戦です。筋トレでは、自身の限界に挑戦することで、精神力と体力を鍛えています。スポーツ観戦では、選手の熱いプレーに感動し、チームの戦略に魅了されています。これらの趣味を通じて、目標達成のための努力や、チームワークの大切さを学んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

法人紹介

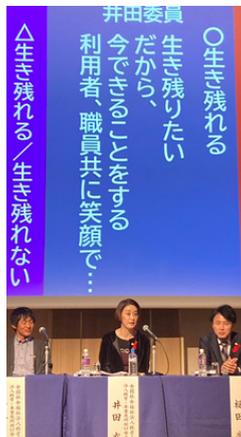
- ・私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、可能性を最大限に引き出す保育を目指します。
- ・保護者の皆様と手を取り合い、子どもたちの成長を共に喜び、子育ての悩みを分かち合うパートナーでありたいと願っています。
- ・保育士が安心して働き、専門性を高められる環境を整備し、子どもたちに質の高い保育を提供します。
- ・地域社会との交流を深め、地域に開かれた保育園として、子育て支援に貢献します。



卒会に寄せて

神奈川経営青年会 会長 井田友花

今年度、会長の任期を終えると同時に青年会を卒会する井田友花会長（三神会）より、次世代の会員へメッセージをいただきました。



いよいよ卒会の時が近づいて参りました。会員としての15年間、特に会長を拝命しましたこの2年間は、諸先輩方、会員の皆様、事務局の皆様等、お世話になった多くの方からご尽力ご厚情を頂いたことに、心より感謝申し上げます。

私が青年活動において得られた最大の財産は、大好きな仲間たちです。会議や懇親とあらゆる場面で、多くの貴重な情報を躊躇なく交換し合える仲間。本気で対話することができる仲間。精神的には孤独になりがちな経営者にとって、仲間の存在は、何物にも代えがたいものです。

目的意識をもって参加して下さる皆様は、前向きでエネルギーが豊富。そしてとことん仲間に優しく、年齢職種に関わらず、それぞれを“経営者”として尊重してくれる心の深いばかりです。だからこそ、社会福祉業界で活躍されている方が多く集まっているのだと思います。また委員会、研修、広報活動等多様な活動があり、興味のあるものに、それぞれのペースで参加できるのも良いところ。知識は机上で得られますが、仲間は自ら参画しなくては得られません。ぜひ、より多くの方々に当会へご参加いただき、この魅力的な仲間の存在を知って欲しいと思います。これからも共に考え、共に歩み、共に前へ進む仲間が集う青年でありますよう、皆様のご活躍を祈念しております。

会員数

令和7年3月1日現在
会員数 89名 法人数 60法人

上半期活動予定

令和7年7月15日（火）
神奈川県社会福祉法人経営青年会総会・研修会
場所：崎陽軒本店（横浜）

★★募集★★

会員法人紹介ページ（1ページ）にて、所属法人をご紹介下さる方を募集！新しい事業展開をした、職員の福利厚生でこんなことを行っている...等、法人の取り組みを是非ご紹介ください。自薦・他薦（紹介）は問いません。ある日、総務広報委員から「法人紹介をお願いします！」と連絡が来るかもしれません。

編集後記

私が総務広報委員長になってから2年経ち委員は16名に増加し活発で充実した活動となりました。CANVAアプリにより広報誌が目まぐるしく進化し青年会活動の後押しができました。来年度、後任の委員長へ無事に引き継げますことを支えて頂いた皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございます。

総務広報委員会委員長 広嶋稔之

《発行》 神奈川県社会福祉法人経営青年会
《連絡先》 〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2神奈川県社会福祉センター7階
（福）神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部 Tel:045-534-5662 Fax:045-312-6302